

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（一）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	7人	370分
公明党	5人	215分
誠友会	3人	195分
市民連合	2人	150分
日本共産党	2人	130分
新政クラブ	1人	70分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



くまがい ひろゆき
熊谷 寿人
水曜会 (60分)

令和3年度予算編成方針は

問 市長の予算編成に向けた思い、施策の方向性は。

答 新年度は、市税収入が過去15年間で最大の減少幅となることが見込まれるが、厳しい財政事情にあっても未来への投資をやめるわけにはいかない。
新型コロナウイルスの感染防止

策を徹底し、新たな日常の実現に向け社会全体のデジタル化を加速する。行政のデジタル化ではAIチャットボットやオンライン手続きの拡充などに取り組み。また、ネウボラ相談窓口「あのね」の強化などに取り組み、子ども未来館については基本構想を策定する。
コロナ禍を乗り越え、暮らしに安心を取り戻し、子どもたちが将来に希望を持てる都市づくりを進めていく。そのための指針が「仮称」福山みらい創造ビジョン」であり、引き続き、安心と希望の都市の実現に向け全力で取り組む。



つるた たかふみ
連石 武則
水曜会 (50分)

斎場の運営は

問 残骨灰に含まれる有価物を活用する方針が出されたが、その経緯は。

答 近年、残骨灰に含まれる有価物を分別して取り出し、斎場の施設整備等の財源として活用する自治体が増えている。
本市でも市民アンケートを実施

したところ、約9割の方が活用に賛成という結果になった。また、学識経験者、弁護士や自治会等の代表者で構成する残骨灰処理の今後の在り方に関する検討会議では有価物の活用に異論がないことで意見が一致しており、こうした検討を経て、有価物を施設整備等の財源とすることにした。
4月からの実施に当たっては、事前に十分な周知を行い、遺族に対しても丁寧な説明を行っていく。



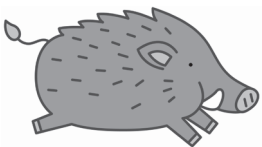
いしがわ さとし
石口 智志
水曜会 (50分)

有害鳥獣対策は

問 農作物の被害はイノシシによるものが突出しており、捕獲頭数も増加している。
①今後の捕獲班編成をどう考えるか。
②IoTを活用した取り組みは。

答 ①現在、銃猟免許所有者を基本に捕獲班を7班編成し、捕獲

活動を行っている。今後、免許所有者の減少が危惧されることから安全で持続可能な捕獲活動が継続できるよう、免許所有者以外の方の参加も視野に新たな捕獲班の編成を協議していく。
②今年度、イノシシの生息地域にセンサーを設置し、出没回数や行動範囲を調査する実証実験を予定している。得られたデータを基に、効果的なわなや防護柵の設置場所などを検討する。



*12月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。

※AIチャットボット：AI（人工知能）を組み込んだコンピューターが人間に代わって自動的に対話する仕組み